

上越マテリアル 株式会社

DX宣言書

2025年5月9日
上越マテリアル 株式会社
代表取締役社長 守屋 裕司

□ 経営理念

使命(MISSION): 私たちは、人と技術を融合した独自のリサイクルを通して、循環型社会の形成を目指し、「地域共生」という名のもと、地域の発展に貢献します

将来像(VISION): 社員一人ひとりがサービスと環境づくりを意識し、お客様に選ばれる企業「付加価値」を常に意識しながら、存在価値を高め、成長し続ける企業

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆デジタル技術の活用を通じて、業務の効率化を進め、スムーズな情報連携を可能にするとともに、本来の業務に注力できるよう社内の協力体制を構築します
- ◆営業活動に集中できる環境を整えることで、より丁寧かつスピーディーな対応を実現し、お客様から信頼される企業を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年10月)

戦略 「現状分析とDX推進基盤の構築」

- 施策
- ・ 負担となっている作業や属人化している作業を特定するため、社内アンケートを実施
 - ・ 上記結果をもとに、業務効率化に向けて優先的に取り組むべき課題を整理
 - ・ 業務効率化に向けて、具体的な課題解決策を検討
 - ・ DX推進の理解を深めるため、他社のデジタル活用事例紹介を含めたDX推進方針の説明会を開催

➤ フェーズ2(2025年11月 ～ 2026年12月)

戦略 「業務プロセスの最適化および定着とデータ活用基盤の構築」

- 施策
- ・ フェーズ1で決定した優先順位に基づき、システム導入等の改善策を実行
 - ・ 関係部門と連携しながら新業務フロー・営業プロセスを設計・文書化し、社内マニュアルとして整備
 - ・ 部門間の情報連携を円滑にするため、情報管理方法等のルールを統一
 - ・ 対応履歴や顧客情報等のデータを集約・一元管理し、誰もが活用しやすいデータ基盤を整備
 - ・ 工場点検のタブレット化を残り2カ所の工場にも拡大
 - ・ 各部門で、新業務フローの説明・試験運用や導入システムの勉強会を開催

➤ フェーズ3(2027年1月 ～ 2028年6月)

戦略 「顧客対応力の向上とボトムアップによる業務改善の活性化」

- 施策
- ・ 顧客満足度向上や継続的な顧客との関係構築のため、データ分析により、きめ細やかな顧客対応を実現
 - ・ 営業力の底上げに向けたノウハウ共有や研修を実施
 - ・ 社員が自由に意見や提案ができる仕組みを整え、ボトムアップの業務改善活動を活性化
 - ・ 成果や挑戦を正当に評価するインセンティブ制度や柔軟な働き方を継続的に進化させ、社員が意欲的に働ける環境を整備

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- | | |
|----------------|--------------------------|
| ・ 計画策定 | : 完了(～2025年10月) |
| ・ 営業担当者の事務作業時間 | : 50%削減(～2026年12月) |
| ・ 残業時間 | : ゼロ時間(～2028年6月) |
| ・ 新規顧客数 | : 2024年度比 15%増(～2028年6月) |
| ・ 紙の使用量削減率 | : 2024年度比 30%減(～2028年6月) |